

山田中学校・東兎中学校 再編準備委員会 第1回全体会 会議録（要点筆記）

■ 日 時 令和7年8月22日（金）18：00～18：20

■ 場 所 東兎中学校音楽室

■ 出席者 ○委員

三宅仁美委員長 渡部利枝副委員長

三宅智美委員 片山順菜委員 奥仁美委員 諏訪広美委員

片山聡美委員 飯沼佳代委員 藤原明美委員

松岡栄治委員 下浦秀久委員

蔵本諒子委員 難波くるみ委員 合田優子委員 大山都委員

山本孝司委員

新仁司委員 星島孝一郎委員 石原路子委員 入口大志委員

（欠席者：南條亜衣子委員 一守行将委員）

○事務局

玉野市教育委員会教育長 多田一也 教育次長 萱哲司

学校再編推進課長 森真志 学校再編推進課参事 清山智保

学校再編推進課主査 小崎隆 学校再編推進課主査 藤田直也

（オブザーバー）学校教育課長 的場佳代

■ 傍聴者 一般 2人 市議会議員 4人 報道関係者 1人

1 開会

事務局： 要綱第6条第2項に基づき、委員の半数以上が出席しているので、会議として成立することを報告する。

2 教育長あいさつ

教育長： 本日は大変お忙しい時間帯にご参集いただき、また山田・東兎中学校の再編準備委員会委員を受けていただき、ありがたく思っている。言うまでもなく、学校の統廃合というのは、本市の教育史に残る大変大きな取り組みである。ご負担もおかけすると思うが、社会がこれだけ大きく変化し、今後も変化し続けるなかで、学校教育は、今大きな転換期を迎えている。これまでの説明会でも説明してきたことであるが、数値で表される認知能力だけでなく、それ以外の非認知能力の育成はこれからの社会で必要となってくる。そのためには、一定規模の学校のなかで教育活動を行い、教育効果をあげることが必要である。山田中と東兎中の再編の場合、クラス替えができるほどの人数にはならないが、それでも統合してよくなったと言われるような学校づくりをやっていきたいと思っている。保護者、地域、学校関係者、行政が力を合わせて未来の子どもたちのために、いい学校づくりに尽力していただきたいと思っている。

3 委員・職員紹介

・委員及び職員の紹介（資料2 委員名簿）

- ・委嘱状の交付は省略し、机上配布

4 委員長・副委員長選出

- ・要綱第5条第2項に基づき、委員の互選により、委員長に三宅仁美委員、副委員長に渡部利枝委員が選出された。

5 再編準備委員会運営方針

事務局： 再編準備委員会の会議は、透明性の確保、地域への情報発信、情報共有の面から、原則公開（委員長が必要と認めた場合は非公開とする。）し、会議録については、会議の内容を要点筆記したものを事務局が作成し、公開する。準備委員会は、計画の方針自体を協議する場ではなく、学校再編を前提として、学校、保護者及び地域が協働して再編の準備や諸課題について協議を行うために設置するものであることを説明した。

6 議事（要綱第5条第3項に基づき、三宅仁美委員長が議長となる。）

（1）再編準備委員会の概要について

委員長： 事務局から本準備委員会の概要について説明をお願いします。

事務局： 【資料4】により説明

再編準備委員会は、本日、令和7年8月22日に設置し、設置期間は、各部会での検討項目が最終決定するまでとする予定である。1ヶ月～2ヶ月に1回程度、各部会を開催し、一定程度、協議内容が決定した段階で、定期的に全体会を開催する。本年度のおおよその目安として、3回程度開催する予定である。

部会の意思決定方法は、再編準備委員会の全体会の下に、総務部会、PTA部会、学校運営部会、通学安全部会の4つの部会を設置し、学校名や教育方針、通学路など様々な項目について各部会で検討した内容を全体会に報告し、全体会での意思決定内容を教育委員会に報告した上で、最終的な方向性を決定していき、最終的な方針については、市議会へ随時報告し、意見を聴取することとする。なお、各部会から必要に応じて、山田中・東児中の生徒代表から意見をもらいたいと考えている。

各部会での検討項目と再編までの大まかなスケジュールを示しているが、詳細については、この全体会の後の、各部会で説明する。

再編準備委員会での決定事項に関する情報発信は、事務局が「再編準備委員会だより」を作成する予定である。保護者の方には、保護者連絡ツールを活用し、また、地域の方へは、市ホームページや公民館に「再編準備委員会だより」を設置するなど、随時、情報発信していく予定である。

委員長： 質問や意見はないか。

（意見なし）

7 閉会

